

中国から携帯品で持ち込まれた豚肉製品から アフリカ豚コレラウイルスの遺伝子を確認（3例目）

<概要>

11月21日、大連から成田空港への到着便に搭乗していた旅行客の携帯品（豚肉ソーセージ 2.5kg）について、遺伝子検査（PCR）を実施したところアフリカ豚コレラウイルスの遺伝子を確認。

10月19日（1例目）、11月9日（2例目）に続き、3例目のウイルス遺伝子の確認となった。

アフリカ豚コレラの侵入防止に万全を期すため、引き続き、飼養衛生管理基準の徹底をお願いします！

●海外渡航自粛

●衛生管理区域への病原体の持ち込み防止と消毒

- ・関係者以外の農場への立入禁止
- ・衛生管理区域内専用の衣服、履物の設置と使用
- ・農場に出入りする際の車両消毒、消石灰帯の実施
- ・飼料に生肉を含む又は含む可能性がある場合は、加熱処理（70℃・30分以上又は80℃3分以上）を徹底

●早期発見と早期届出

異常があれば直ぐに家保へ連絡をお願いします。

●野生動物対策

- ・フェンス、ネットの設置
- ・豚舎周囲の清掃、整理・整頓

※ 平日時間外（午前8時30分～午後5時15分以外）や休日の電話に対しては、「電話交換業務が終了しています。」に続く、「お急ぎの場合は、そのまま「1番」をダイヤル願います。」の案内メッセージに従って対応をお願いします。

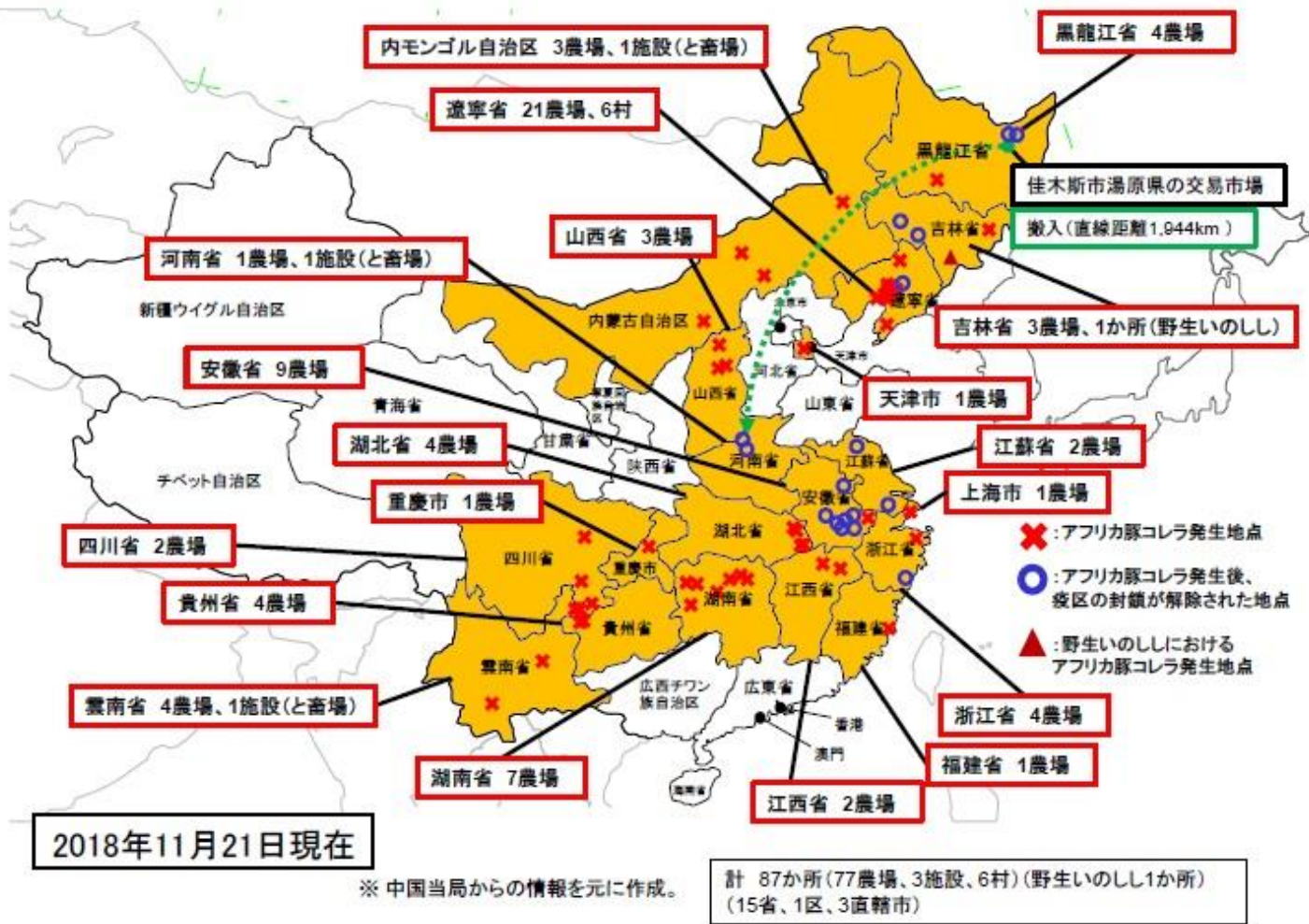
飛騨家畜保健衛生所（飛騨総合庁舎内）

〒506-8688 高山市上岡本町7-468

E-mail : c24508@pref.gifu.lg.jp

TEL : 0577-33-1111（内線402・405） F A X : 0577-32-9019

中国におけるアフリカ豚コレラの発生状況



アフリカ豚コレラの症状

病状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。甚急性では突然死亡、急性では発熱(40~42℃)、食欲不振、粘血便、チアノーゼ等を呈し、死亡率は100%に近い。



写真出典: USDA APHIS Plum Island Animal Disease Center